

日限山小学校と南舞岡小学校の 学校規模適正化に関する説明会

令和6年4月26日（金）18時00分～
令和6年4月27日（土）10時00分～

横浜市教育委員会事務局学校計画課

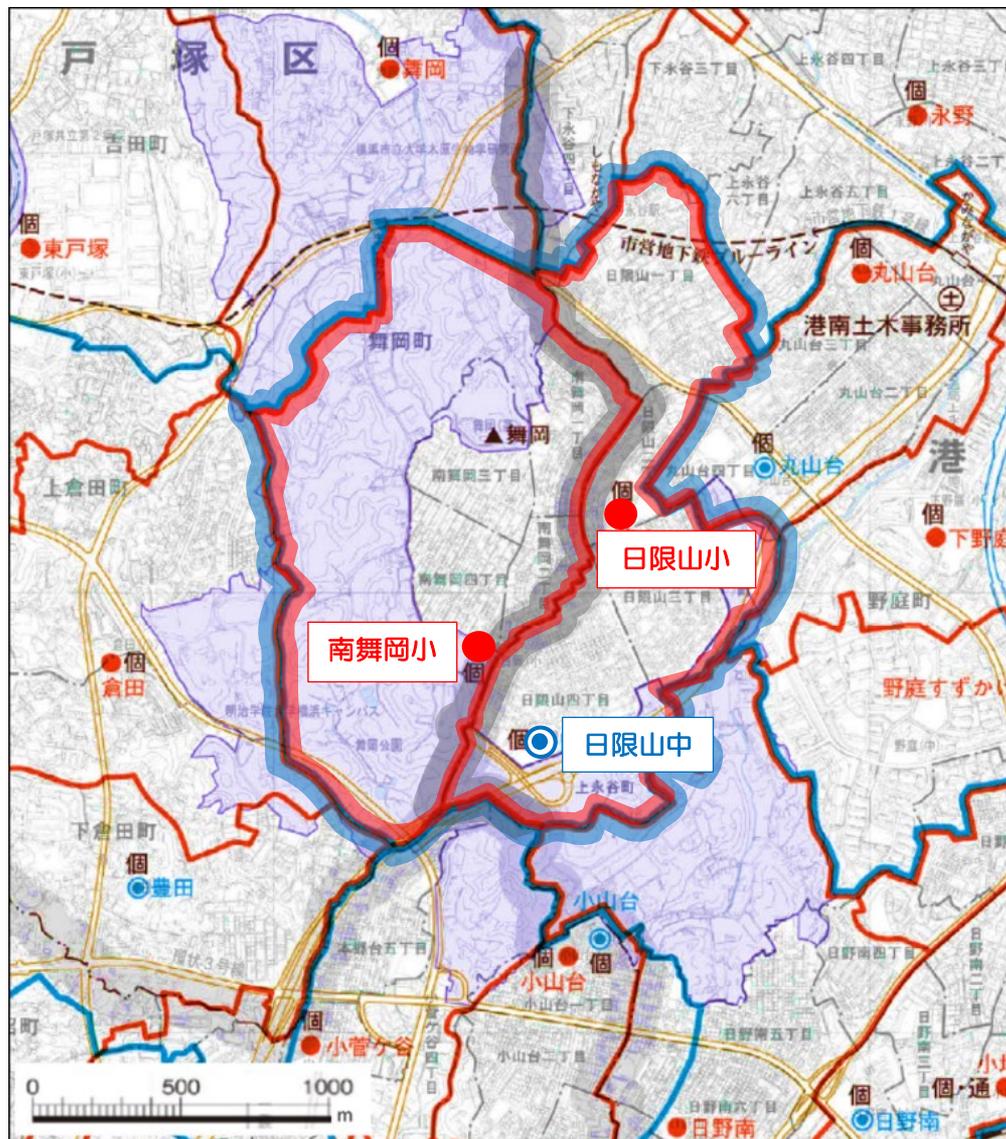
次 第

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状
2. これまでの検討経過
3. 質疑応答

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

◆通学区域図



1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

◆児童数・学級数の推計（今後の見込み）

日限山小学校	個別支援学級 (R5)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
児童数（人）	20	417	402	386	364	346	330	311
学級数（学級）	4	13	13	13	12	12	12	12
南舞岡小学校	個別支援学級 (R5)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
児童数（人）	24	200	201	192	211	198	191	197
学級数（学級）	4	9	9	8	8	7	6	6

《令和5年度》 令和5年5月1日現在の実数値

《令和6年度以降》 令和5年度義務教育人口推計による推計値

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

◆令和6年度の児童数・学級数

学年	日限山小学校			南舞岡小学校		
	児童数 (人)	学級数 (学級)	1クラスの 児童数	児童数 (人)	学級数 (学級)	1クラスの 児童数
小1	63	2	31~32	33	1	33
小2	58	2	29	28	1	28
小3	57	2	28~29	40	2	20
小4	69	2	34~35	38	2	19
小5	83	3	27~28	17	1	17
小6	73	2	36~37	42	2	21
小計	403	13		198	9	
個別支 援学級	24	4		24	4	
合計	427	17		222	13	

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

◆適正な学校規模の考え方

<出典>横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針



◎小学校では、

12～24学級（各学年2～4学級）の学校を「適正規模校」とし、
11学級以下の学校を「小規模校」としています。

※望ましい学級数の考え方として、小学校では全学年でクラス替えが可能な12学級（2学級×6学年）以上を確保することが望ましいとしている。

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

◆小規模校の特徴

メリット	<ul style="list-style-type: none">・子ども同士よく知り合うことができ、人間関係が密になる。・学校に対する保護者の理解や協力を得やすく、学校全体で主体的な対応がとりやすくなる。・保護者同士のつながりが強く、お互いに協力しやすい。
課題	<ul style="list-style-type: none">・子ども同士の間人間関係が固定化しやすい。・運動会などで一定人数が必要な競技が行いにくくなる。・多様な個性と触れ合える機会に恵まれにくく、人間関係を修復したり広げたりしていく力や社会性を育てる機会が限られる恐れがある。・一人の先生が担当する学校・学年全体の事務作業や、学校行事に関わる負担が多くなる。・クラス替えができないことにより、人間関係などに問題が生じた場合、解決が困難になりやすい。

1. 日限山小学校と南舞岡小学校の現状

◆児童数・学級数が増えることができること

- ・教員同士が多面的な児童の見取りができるようになり、学習指導や児童指導における有効な手立てを学年内で共有できる。
- ・日常的に他学級の教室環境等から学び良いところを取り入れ、高めあうことができる。
- ・児童同士の間関係や、児童と教員との人間関係に配慮した学級編成ができる。
- ・学級の枠を超えた学習活動や、学年内での教員の役割分担による専科指導等、多様な指導形態を展開しやすい。
- ・配置される教職員の人数が増えることにより、個に応じた適切な教育を行いやすい。

2. これまでの検討経過

2. これまでの検討経過

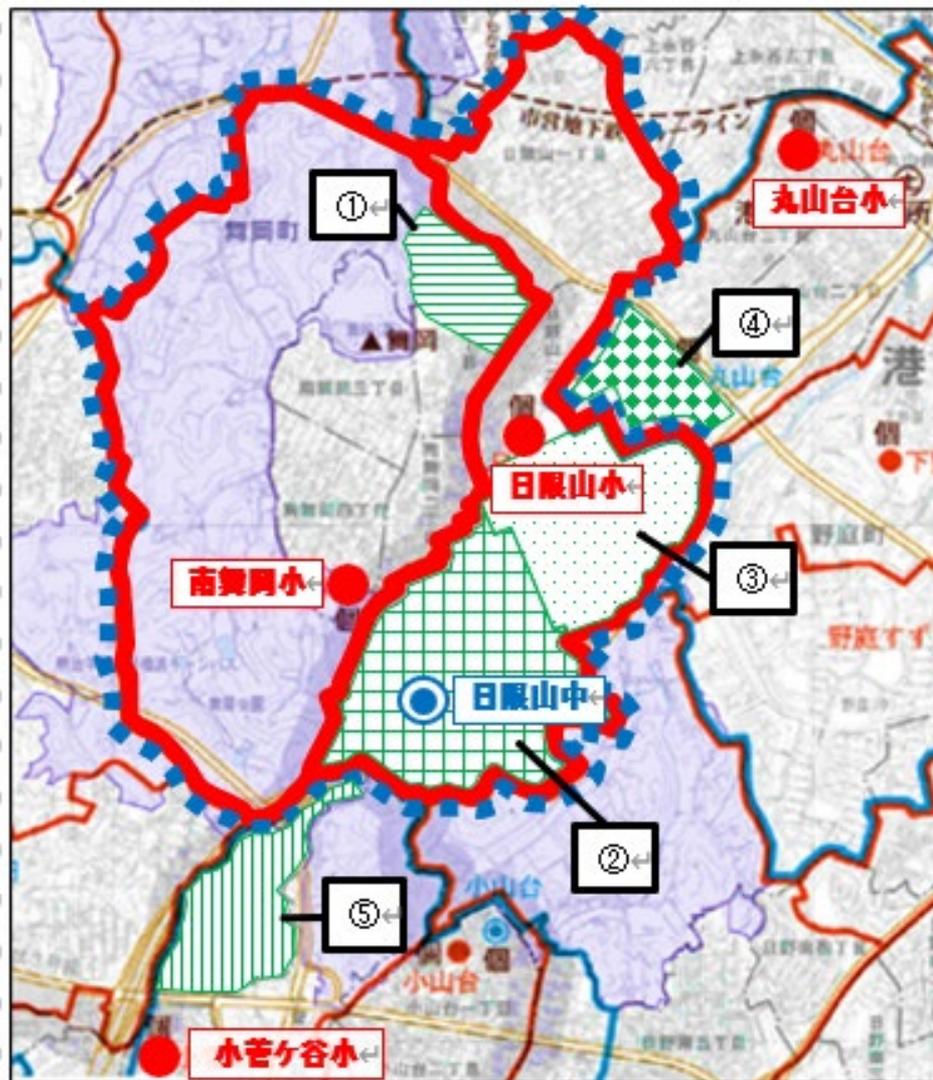
会議等	内容
説明会 (R4.5.23・24)	日限山小学校と南舞岡小学校の現状や推計、小規模校の特徴、今後の取組等について説明。
第1回検討部会 (R4.9.30)	<p>事務局から、検討事例として日限山小学校の通学区域の一部を南舞岡小学校に変更する案及び学校統合案を事務局が提示し、検討。</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・南舞岡の自然と小規模校の利点を考えて、小規模校があってもよいのではないかと思う。・南舞岡小学校の個別支援学級がとても良いという話を聞いている。その方たちは、統合となった場合に人数が増える、環境、スタイルなどいろいろ変わっていくのではないかと不安を感じている。・通学区域を変更するにあたっては、南舞岡小、日限山小の2校だけでなく、周辺の小学校も含めて、考えていく必要があると思う。

2. これまでの検討経過

会議等	内容
第2回検討部会 (R4.12.8)	<ul style="list-style-type: none">・事務局から、新たな検討事例として、丸山台小学校や小菅ヶ谷小学校を交えて通学区域変更する案を提示。・第1回検討部会での検討内容を踏まえ、各所属団体からの意見報告。 <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・通学区域の見直しでは規模適正化は難しいのではないかと。・どのような形で統合するのかわからないといった不安から学校を残したいという気持ちがあると思う。・小規模校の良さを感じているのになぜ適正化を図らなければならないのかわからない。・所属団体の中でも、統合には賛成と反対が分かれている。・個別支援級の学級数が学校規模の基準に入らない理由はわかったが、一概に考慮しないのではなくそこも含めて検討してほしい。・学年1クラスしかない学校で気が合わない子がいたら逃げるところがないと思った。統合を経験した子ども達がどのように思っているのか気になる。

2. これまでの検討経過

◆ 検討事例の参考地図



2. これまでの検討経過

◆通学区域調整の検討（第1回、第2回検討部会）

検討事例1

南舞岡小学校通学区域のうち、南舞岡一丁目（①）における特別調整通学区域の設定を解除し、日限山小学校を選択することをできなくした場合。

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	400	380	359	339	321
	学級数	14	13	13	13	12	12	12
南舞岡小	児童数	207	198	203	194	215	206	202
	学級数	9	9	10	9	10	9	9

検討事例2

検討事例1に加えて、日限山小学校通学区域のうち、日限山四丁目（西洗自治会）及び上永谷町の一部の地域（②）を、南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	395	365	334	309	288
	学級数	14	13	13	13	12	12	12
南舞岡小	児童数	207	198	207	208	239	236	234
	学級数	9	9	10	10	11	10	10

⇒ 検討事例1・2 南舞岡小学校の小規模校の状態は解消されない。

2. これまでの検討経過

検討事例3

検討事例1に加えて、日限山小学校通学区域のうち、日限山三丁目、日限山四丁目及び上永谷町の地域(②③)を、南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	381	336	290	258	224
	学級数	14	13	13	12	10	10	9
南舞岡小	児童数	207	198	221	237	281	284	294
	学級数	9	9	10	10	11	11	11

- ⇒・南舞岡小学校の小規模校の状態は解消されない。
 ・日限山小学校が小規模校になる。

検討事例4

日限山小学校と南舞岡小学校を統合する場合。

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
統合校	児童数	—	—	—	574	574	546	524
	学級数	—	—	—	18	18	18	18

※令和7年度学校統合する場合

- ⇒・統合校の学校規模は適正規模になる。
 ・閉校する学校施設の後利用の検討が必要になる。
 ・学校統合に伴い、通学距離が長くなる地域が生じる。

2. これまでの検討経過

検討事例5

検討事例1に加えて、以下の区域を南舞岡小学校に通学区
域変更した場合。

日限山小学校通学区のうち、日限山三丁目、日限山四丁目、上永谷町
(②③)

丸山台小学校通学区のうち、丸山台四丁目、上永谷町 (④)

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	381	336	290	258	224
	学級数	14	13	13	12	10	10	9
南舞岡小	児童数	207	198	223	245	292	296	311
	学級数	9	9	10	10	11	11	11
丸山台小	児童数	320	309	286	264	252	244	231
	学級数	12	12	11	10	10	10	10

- ⇒ ・南舞岡小学校の小規模校の状態は解消されない。
 ・日限山小学校、丸山台小学校が小規模校となる。
 ・中学校の通学区変更の検討が必要になる。

2.これまでの検討経過

検討事例6

検討事例1に加えて、以下の区域を南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

日限山小学校通学区域のうち、日限山三丁目、日限山四丁目、上永谷町

(②③)

丸山台小学校通学区域のうち、丸山台四丁目、上永谷町 (④)

小菅ヶ谷小学校通学区域のうち、本郷台五丁目 (⑤)

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	381	336	290	258	224
	学級数	14	13	13	12	10	10	9
南舞岡小	児童数	207	198	226	253	306	315	333
	学級数	9	9	10	10	11	11	11
丸山台小	児童数	320	309	286	264	252	244	231
	学級数	12	12	11	10	10	10	10
小菅ヶ谷小	児童数	474	448	408	404	381	352	329
	学級数	16	15	14	14	13	12	12

⇒・南舞岡小学校の小規模校の状態は解消されない。

・日限山小学校、丸山台小学校が小規模校となる。

・中学校の通学区域変更の検討が必要になる。

・本郷台五丁目から南舞岡小までは通学安全上に課題があり、対策が必要となる。

2. これまでの検討経過

会議等	内容
第3回検討部会 (R5.2.22)	<ul style="list-style-type: none">・事務局から、実際に学校統合を経験した児童、保護者、地域へ実施したヒアリング結果及びアンケート結果を説明。 <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・通学区域変更では適正化は難しい印象を受けたが、だから統合というのではなく、両校各学年1クラスくらいになって、部会としてまた検討していくというなら納得できる。・今の南舞岡小学校の規模で何が悪いのかわからない。・単学級の場合低学年で辛い思いをしてしまうと、ずっと引きずってしまう。・先生の人気は学級数で変わるが、やるべきことはどの規模の学校でも変わらず、人数が少ないと一人で何役もこなさないと学校が回らない。・個別支援級は、障害種別に合わせた形で教育をするために、個別支援級という学びの場と一般学級という学びの場、2つの場を用意していると考えるといいと思う。・子どもたちが一番大切だが、大人の気持ちの切り替えにどう寄り添っていくかもないがしろにできないと思う。

2. これまでの検討経過

◆統合した学校の児童、保護者、地域の声（第3回検討部会）

- ・菅田の丘小（令和3年旧池上小と旧菅田小が統合し開校）での聞き取り調査

児童

- ・全体的に友達が増えて楽しい。
- ・学校が、全体的に活気が増えてにぎやかになった。
- ・これまで1クラスでクラス替えがなかったが、3クラスに増えたことが良かった。
- ・通学路が変わって、不安だった。

保護者

- ・子どもが新しい学校に慣れるまで、それほど時間はかかっていなかったと感じた。また、遊び方なども特に変化はなかった。
- ・運動会では、学年ごとの種目ができたことや、学年全体で一体となったダンスなどのパフォーマンスが行えたことなど、これまでなかったスケールの大きさに感動した。
- ・学校統合するにあたって通学路の心配があったが、学校が始まるまでに通学訓練などが行われたことで、懸念事項を整理することができた。

地域

- ・通学路は新校舎になっても同じなので、今後の通学安全対策を考えていきたい。
- ・統合が子どもたちの生活に影を落としているのではないかと懸念していたが、全く感じられなくて安心した。

2. これまでの検討経過

会議等	内容
第4回検討部会 (R5.6.14)	<ul style="list-style-type: none">・今後の学校規模適正化の方向性について、各所属団体から意見を報告。 <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・小規模をメリットと思っている保護者としては、統合すると良いところもなくなってしまうと心配している。・小規模校の学校現場の大変な状況はよくわかったが、保護者にはその苦勞は見えていないと思う。・実際に単学級の中でいじめに苦しみ他の中学に進んだ方、一方でクラス替えがあって学校に通えるようになった方のお話を聞きました。苦しんでも、声に出せない方は実際にあると思う。・小規模校ならではの良さもたくさんあると思うが、現場で働く先生の意見が一番切実だと思う。先生なくして学校はないと思う。・最終的な形が見えないと議論が進まない。・学校統合は子どもの教育環境にどのようなメリットがあるのか、統合する場合のプランを具体的に示してほしい。

2. これまでの検討経過

会議等	内容
第5回検討部会 (R5.9.11)	<ul style="list-style-type: none">・事務局から、仮に学校統合する場合の通学区域案や両校の校舎の基本情報等を提示。・事務局から、南舞岡小学校の規模適正化を図り、児童の教育環境を改善するために、日限山小学校と南舞岡小学校を統合することを提案。 <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・先生の配置人数やいじめの問題等を踏まえると、今の制度では統合するのはベターだと思うが、適正な学校規模の基準の見直しも意見として挙げたい。・子どもたちは地域の子として育っていると感じる。両校の児童が日限山中学校に進学しているので、教育環境をどのように整えていくことが子どもたちにとって一番良いかを地域一体となって考えていかなくてはならないと思う。・教育委員会から直接話を聞ける機会を作るのが良いのではないか。

2. これまでの検討経過

会議等	内容
相談会 (R5.10.30・31)	事務局と直接話をする機会として相談会を開催。
第6回検討部会 (R5.11.29)	<ul style="list-style-type: none">・事務局から、相談会の報告。・寄せられた意見を踏まえて通学区域変更について再検討。 <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・南舞岡小学校の先生はすごく頑張ってくれているから小規模でも成り立ってきたのだと思う。・埋蔵文化財センター（旧野七里小学校）を利用した際、まちな人の出入りが多くあり、とても良い利用の仕方をされていた。廃校が決して悪いわけではなく、むしろ地域の人達が集う場所ができるというプラスの面もあると感じた。跡活用の仕方次第では地域が衰退するわけではないと思う。・児童の教育環境を第一に考えると、統合の方向性を検討しないと議論が先に進まないと感じた。そのためには、統合する場合に考えなければいけないことについて検討する必要があると思う。

2. これまでの検討経過

◆通学区域調整の再検討（第6回検討部会）

検討事例1 南舞岡一丁目における特別調整通学区域の設定を解除し、日限山小学校を選択できなくした場合。※令和7年度の新1年生から対象とする場合

学校		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
日限山小	児童数	417	402	384	356	333	312	290
	学級数	13	13	13	12	12	12	12
南舞岡小	児童数	200	201	193	217	209	206	214
	学級数	9	9	9	10	9	9	10

⇒南舞岡小学校の小規模校の状態は解消されない。

検討事例2 検討事例1に加えて、日限山四丁目（西洗自治会）の地域を、南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

※令和7年度の新1年生から対象とする場合

学校		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
日限山小	児童数	417	402	373	335	306	281	255
	学級数	13	13	13	12	12	11	10
南舞岡小	児童数	200	201	205	240	238	240	253
	学級数	9	9	9	10	10	10	11

⇒・南舞岡小学校の小規模校の状態は解消されない。

・日限山小学校が令和10年度から小規模校となる。

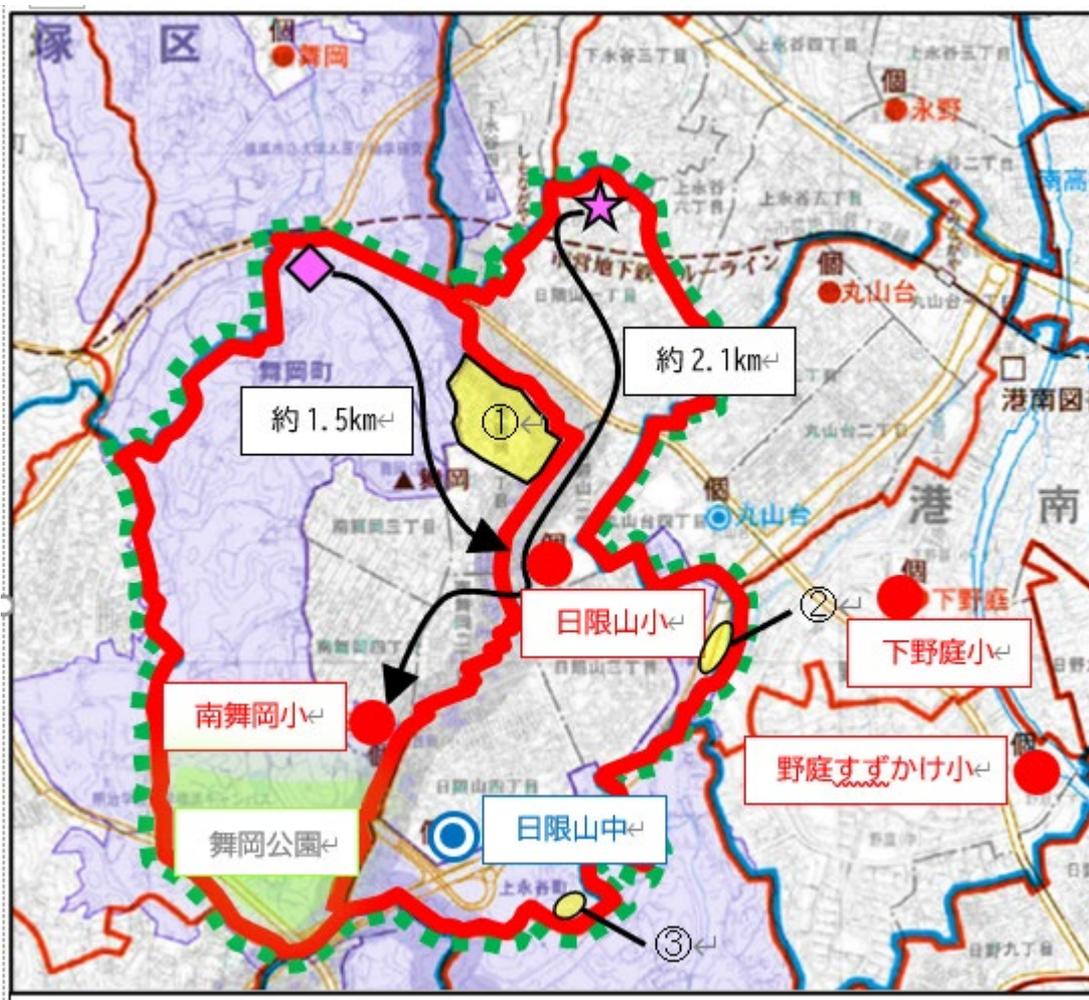
2. これまでの検討経過

会議等	内容
第7回検討部会 (R6.2.29)	<ul style="list-style-type: none">・事務局から、学校規模適正化の対応案として、仮に両校を閉校して統合し、新たな学校をつくる場合の通学区域、使用校舎、開校時期(統合時期)について、提案・検討部会として、事務局の案を学校規模適正化の対応案とすることを確認 <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・通学距離や南舞岡小の場合グラウンドに別途校舎を建てる必要があるなどさまざまな諸条件を一般的にみたら、日限山小学校の校舎を使用するのが自然だと思う。・「学校を統合して新しくする」ということは、学校名や校歌などいろいろなことを新しく作っていくことだと理解している。大切なのは両方の学校のそれぞれの良いところや文化をどのようにして新しい学校に引き継ぐかということだと思う。・一緒になった先の子ども達も、隔たりなく対等に仲良くしていけることを目標に、どこの学校よりも良い、新しい学校にしていくことに重きを置いて検討していきたい。

2. これまでの検討経過

◆仮に学校統合する場合（第7回検討部会）

・通学区域について



【凡例】

小学校... ● 中学校... ◎

現在の小学校通学区域... —

現在の特別調整通学区域... □

統合校の通学区域案...

市街化調整区域... □

南舞岡小学校通学区域内から日限山小学校まで最も遠い場所... ☆

日限山小学校通学区域内から南舞岡小学校まで最も遠い場所... ◆

【事務局から提案】

・日限山小学校と南舞岡小学校の通学区域を合わせた通学区域とすることが望ましい。

・通学距離や地域コミュニティとの関係等に配慮し、隣接する学校との特別調整通学区域の設定についても、必要に応じて検討することが望ましい。

2.これまでの検討経過

◆仮に学校統合する場合（第7回検討部会）

・使用校舎について

①児童数・学級数の推計

学校		個別支援学級 (R5)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
日限山小	児童数	20	417	402	386	364	346	330	311
	学級数	4	13	13	13	12	12	12	12
南舞岡小	児童数	24	200	201	192	211	198	191	197
	学級数	4	9	9	8	8	7	6	6
両校の児童数を 合わせた場合	児童数	44	617	603	578	575	544	521	508
	学級数	6	19	19	19	19	18	18	18

②内部改修による最大教室数

	日限山小学校	南舞岡小学校
最大教室数	29教室	22教室
統合した場合に 必要な教室数	25教室 (個別支援学級6学級＋一般学級19学級と仮定)	

- ・日限山小学校を使用校舎とする場合、内部改修により必要な教室数の確保が可能。
- ・南舞岡小学校を使用する場合、内部改修だけでは必要な教室数を確保できないため、敷地内に別途校舎を整備する必要がある。

2.これまでの検討経過

◆仮に学校統合する場合（第7回検討部会）

・使用校舎について

③両校の基礎情報

	日限山小学校	南舞岡小学校
開校年度	昭和49年度(49年目)	昭和56年度(42年目)
親校	永野小学校・東戸塚小学校	日限山小学校
小中一貫教育推進ブロック	日限山中学校／日限山小学校・南舞岡小学校	
校地面積	13,134㎡	14,036㎡
グラウンド面積	4,018㎡	3,701㎡
教室使用状況	一般学級で使用している教室 13 個別支援学級で使用している教室 4 他の用途で使用している教室 5	一般学級で使用している教室 9 個別支援学級で使用している教室 4 他の用途で使用している教室 4
特別教室等 (外数)	理科室1、音楽室2、図工室1 家庭科室1、視聴覚室1、図書室1 多目的室1	理科室1、音楽室1、図工室1 家庭科室1、視聴覚室1、図書室1
体育施設	体育館1(使用可能面積約480㎡) 屋外プール1(約180㎡ 25m×5レーン)	体育館1(使用可能面積約480㎡) 屋外プール1(約180㎡ 25m×5レーン)
エレベーター設置状況	あり	あり
地域防災拠点の指定	あり	あり

2. これまでの検討経過

◆仮に学校統合する場合（第7回検討部会）

・統合時期について

①学校別の最適な統合時期（交流期間の確保や学校の施設整備の期間などを考慮）

・日限山小学校を使用校舎とする場合... **令和8年4月**

・南舞岡小学校を使用校舎とする場合... **令和9年4月**

②統合時期に応じた学年

令和6年4月現在	令和8年4月	令和9年4月
3歳	5歳	小1
4歳	小1	小2
5歳	小2	小3
小1	小3	小4
小2	小4	小5
小3	小5	小6
小4	小6	卒業
小5	卒業	卒業
小6	卒業	卒業



【統合時期の考え方】

両校の児童が「新しい学校になることへの期待感を持つ」など心理的な面を含めた準備期間として、1年程度かけて様々な授業や学校行事を通じて交流を図っていくことなどを考慮する必要がある。

2. これまでの検討経過

◆仮に学校統合する場合の対応案（第7回検討部会）

- 通学区域…両校の通学区域を合わせた区域
- 使用校舎…現在の日限山小学校
- 開校時期…令和8年4月

3. 質疑応答

《お問い合わせ先》

横浜市教育委員会事務局施設部 学校計画課

【電話】 045-671-3252

【Eメール】 ky-kounan2022@city.yokohama.jp

【ホームページ】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kounantotsuka.html>

